

2017/2/9

(日々雑感 8)



かりそめにも貧乏になって、貧乏というものがどういうものかなんとなく分かってきました。

とにかくお金のことばかりがアタマの中を占めるのです。

いかに安く買うか、どうやったら出費を減らせるかに始まって、お金が落ちてないか、どこからか舞い込んでこないか、宝くじが当たらないか、とかとか。

あるいは、惨めに見られないか、不潔に見られないかなど、やたらとマイナス記号の付いた考えばかりになっていきます。

自分の生活をしのぐのや自分の自尊心を守るのに精一杯で、人様のことなど考えなくなってきました。そんなことをやっている余裕がなくなるみたいです。

小さい頃から、そのしのぎ方、やり過ごし方、人様の大切さなんかの道理を教わらないで来たり、今現在周りに、同じ境遇で有りながら、そういった倫理観みたいなものを持って、きちんと論したり手本になってくれる人がいなかったりすると、結構危ない考えになりがちかもしれません。

しかし、生まれや環境以前に一番利いてくるのはなんと言っても本人の資質かもしれません。この資質が自己中傾向だと、そうして、前述の二つの歯止め要素がない場合は、もう一気に金、金、金になってしまうかもしれません。それが良いとか悪いとか言うより、そういうメカニズムが動き出すみたいです。

今までぼくは、実態を出すとみんな怖がると思って、そのことを出さないように書いたり話したりしてきましたが、実情は完全に火の車状態で、書いているときも話しているときも、常にお金の問題が頭から離れませんでした。

衣食「足って」礼節を知ると言いますが、本当は衣食「絶って」礼節を知るかもしれません。貧乏になったときの振る舞いで本当のその人の礼節を知る、振る舞いがその人の本当の礼節を表すということかも。

もし仮に、お金を拾ったらネコババしようなんていうのは、もう朝飯前になっている自分があります。落ちていなかったからネコババしなかっただけです。

浅ましいかもしれませんが、そうなっちゃうみたいです。良い子する前に、まずは食いつながねば。そのどこが悪い！！というようなことです。

ところで、一つ自分にとっての朗報がありました。昔作った隠し口座があったのを忘れていたのです。幸いカードも見つかりました。今朝確認に行ったら残高が7万円ありました。これで、年金支給日まで借金をしなくて済みそうです。少しホッとしました。

今夜は安酒屋で一杯やろうかな？

これも、お金がないくせに、ちょっと日銭が入るとすぐさま遊びに行きたがるとう貧乏の傾向かもしれません。

そう言えば息子はずっとお金がありませんでした。無心されても、自分で働けと突き放し続けたからです。どういう気持ちになるか、どういう思考になるか、その一端は分かったような気も今はしています。

そのためああいうことになったような気も併せてしているのです。